

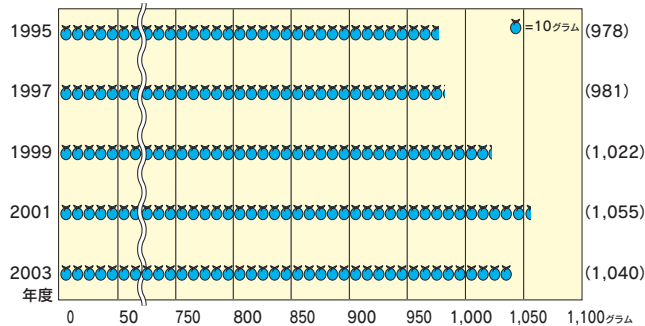
## (2) ごみと住みよいくらし

生活が便利になるにつれて、わたしたちの出すごみの量（排出量）はとて多くなり、2003年度（平成15年度）では、県全体で約81万トンとなっています。

また、これを県民1人1日当たりのごみの排出量になおすと、2003年度（平成15年度）では1,040グラムとなっています。

また、ごみを処理するために、毎年、たくさんのお金が使われています。集めたり、燃やしたり、埋め立てたりするの<sup>う</sup>に、2003年度（平成15年度）では県民1人当たり約8,000円の費用がかかっています。

### ●1人1日当たりのごみの排出量のうつりかわり

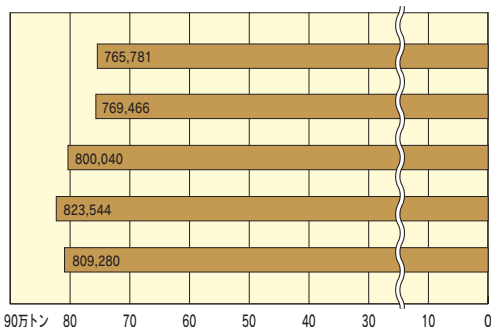


はいしゅつりょう

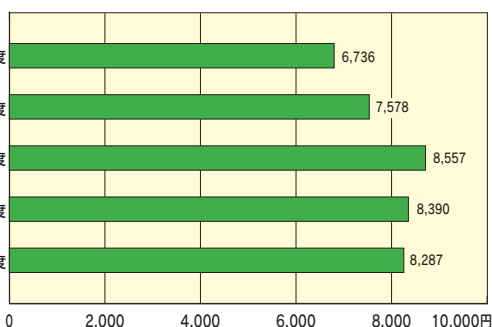


ごみの埋め立て処分場（三春町）

### ●ごみの排出量のうつりかわり



### ●県民1人当たりの処理費用のうつりかわり





リサイクルプラザ「クリンピーの家」(いわき市)



ペットボトルから  
ボールペンや定規を  
作ることも  
できるんだ

増え続けるごみを少しでも少  
なくするため、

- ① 食べのこしをしない
- ② 物を大切に長く使う
- ③ 再利用できるものは上手に利  
用する

など、資源を大切に利用するこ  
とが必要です。また、ごみを出  
すときは、再利用できるものと  
できないものにきちんと区別す  
るなど、みんなが協力してごみ  
を減らすことが必要です。

## ごみの利用

せいそう工場では、ごみを燃やしたときの熱を温水プー  
ルや発電などに利用しています。



あぶくまクリーンセンター(写真左)とその熱を利用したヘルシーランドの温水プール(福島市)